

パブリックコメントの結果公表

- ・政策等の名称

(仮称) 赤坂センター地区複合施設整備基本構想 (素案)

- ・意見等の募集期間

令和8年3月15日 から 令和8年4月15日

- ・意見等の件数

58件 (18人)

- ・担当課

企画政策課 (電話：0476-20-1500)

(仮称) 赤坂センター地区複合施設整備基本構想(素案)について提出された意見と市の考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
1	公共交通(駅からの移動も周辺地域との往復も)良好にしてほしい。	本複合施設の整備と併せて、公共交通からのアクセスや周辺の歩行者動線についても検討を進める予定です。
2	駐車場もエリア毎に作ってほしい	本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。
3	エリアとエリアを繋ぐ橋は利用しやすく	本複合施設の具体的な配置や機能は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。
4	現在、歩道橋や横断歩道を使わず、西口大通りの車道を横断する(図書館側とそよら側を行き来する)高齢者が多くいます。 複合施設の整備に伴って、付近施設やエリアとの回遊性を高める場合、道路の横断者への対策が必要だと思えます。	本複合施設の整備と併せて、公共交通からのアクセスや周辺の歩行者動線についても検討を進める予定です。
5	関東近辺で、複合施設が成功している所は数少ない。 いずれも駅隣接や、交通の便がよく、大きな駐車スペースを持つコンパクトなものが特徴である。当赤坂地区は車以外のアクセスがない。	本複合施設の整備と併せて、公共交通からのアクセスや周辺の歩行者動線についても検討を進める予定です。

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
6	<p>複合施設とは、お互いの短所を補いながら、長所を活かさなければいけない。ただまとめただけでは駄目なのである。機能が独立しながら、お互いを活かすのだ。先に建物ありきではなく、人の動線、車の動線を考えて、駐車スペースを確保してはじめて建物の配置が決まる。理想は大きな円を描くような動線により、つながる施設、独立性を維持しながら関係できるサークル型の複合施設を考えてほしい。イメージは大阪万博である。今の施設よりレベルが上がってあたり前、下がったら市民は納得をしない。</p> <p>利用者目線で見た時、通りに軒を連ねる金融機関の集約をし、通り沿いをスッキリ使えるところから考えてほしい。</p>	<p>本複合施設の配置については、現在複数の配置案があり、今後の基本計画において検討しますが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
7	<p>(赤坂公園を含めた一体的再整備)</p> <p>素案では、調整池まで約 50m、園内まで約 100m の距離を理由に、公園敷地を活用した整備は「困難」と想定しているが、「成田ニュータウン再生の核となる賑わいの拠点」達成には、赤坂公園（緑）と複合施設（知・交流）の融合が不可欠。当初設計から公園側へのアクセス動線と視界の抜けを組み込むことを強く要望する。空間の連続性として、緑道やペデストリアンデッキの拡張による「歩いて楽しい」回遊動線の構築、公園の緑を借景とする図書館やカフェスペースの配置、施設と公園で連動開催できる屋外イベント（マルシェ等）広場の設計など、「施設内完結」から「公園への染み出し」へ、境界を曖昧にする空間設計を行うことで、施設単体ではなく「エリア全体」の価値向上に資するものとする。</p>	<p>赤坂公園を含めて一体的な検討は行っておりますが、予定敷地との高低差が大きいこともあり、本構想においては困難と想定しました。一方で、完全に否定するものではありませんので、本複合施設の配置について今後の基本計画において検討します。いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
8	<p>(高低差を活かしたバリアフリー化と回遊性)</p> <p>現在の中央公民館付近の急勾配の階段は、高齢者や車椅子利用者にとって深刻な物理的障壁となっている。また、商業エリアからバス停へのアクセスは、危険な西口大通りの横断を伴い、歩行者にとってリスクが高い。</p> <p>高齢者、ベビーカー利用者、車椅子利用者にとって、現在の高低差と危険な横断歩道は、施設の利用意欲を大きく削ぐ物理的障壁(バリア)となっているため、整備に当たっては、これらの解消に努めること。具体的な解決策としては、商業エリア(そよら側)から複合施設へ、フラットにアクセスできるペDESTリアンデッキの整備による立体的な回遊動線の構築があげられる。高低差を「障害」ではなく、立体的なゾーニングや見晴らしの良さなどの「魅力」に変換するユニバーサルデザインの徹底し、「点」のバリアフリーだけでなく、周辺施設群を安全に繋ぐ「線と面」のフラットアクセス化を要望する。</p>	<p>バリアフリーについては検討するとともに、本複合施設の整備と併せて、公共交通からのアクセスや周辺の歩行者動線についても検討を進める予定です。</p>
9	<p>赤坂センター地区は成田市にとって大きなチャンスだと考える。中途半端な妥協をせず、将来を見据えた、次世代に誇れるまちづくりを目指してほしい。</p>	<p>「生涯のサードプレイスとなる成田複合拠点～居心地の良い、みんなの「第3の居場所」となる拠点づくり～」として、年齢や世代、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安心して利用でき、誰もが居心地の良さを感じられる複合施設となることを目指してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
10	<p>図書館についてこれまでどおり市の直轄運営を望みます。指定管理者制度の導入は決してしないでほしいです。</p> <p>成田市立図書館には素晴らしい図書館司書さんが揃っており、市民の読書を支える重要な役割を担っています。</p> <p>国家資格である図書館司書の皆さんの雇用を保障してほしいです。</p> <p>図書館における資料の選定、分類、目録作成、レファレンスサービスなど、専門的な知識と経験を要する図書館司書の立場と雇用を守ってください。</p> <p>司書の皆さんが今後も安心して働ける職場環境を守ることが、ひいては市民の読書環境整備にも繋がると信じています。</p>	<p>これまでの市民アンケート調査や市民ワークショップなどで皆さまから寄せられたご意見を踏まえて、19 ページ「2. 目指す姿」において、本複合施設の期待される効果、期待される役割を整理し、コンセプトを定めていますが、これらを実現するためには、29 ページ「3. 7. 2 機能・規模の考え方」に記載のとおり、複合施設の整備・運営両面において、行政だけで行うことよりも、官民連携することで、より効率的・効果的に実現に近づくものと考えておりますが、現在は、将来的な管理手法については、現行どおり、市が直接運営することも否定しているものではありません。</p> <p>なお、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査において、施設の諸室構成や、管理運営も含めた民間活力導入の可否を検討することとなりますが、PFI 手法などの一括発注手法を導入した場合においても、すべて民間事業者の裁量に委ねられるものではなく、サービスの提供にあたり必要な面積や民間事業者に求める運営内容など、本市が求める要件を付することが可能であるため、より良い施設の実現に向け、必要な要件や手法を検討してまいります。</p>
11	<p>今回の構想を見ると、民間の力を活用するようになっていますが、図書館や公民館の運営も民間にお任せするのでしょうか。</p> <p>図書館なんかは、今も市の司書さん？が親身に本を探してくれたりしています。</p> <p>これが全て民間になると少し心配な部分もあります。今の環境がすごくいいので今の司書さんも採用しながら、運営してもらえるといいと考えました。</p>	<p>これまでの市民アンケート調査や市民ワークショップなどで皆さまから寄せられたご意見を踏まえて、19 ページ「2. 目指す姿」において、本複合施設の期待される効果、期待される役割を整理し、コンセプトを定めていますが、これらを実現するためには、29 ページ「3. 7. 2 機能・規模の考え方」に記載のとおり、複合施設の整備・運営両面において、行政だけで行うことよりも、官民連携することで、より効率的・効果的に実現に近づくものと考えておりますが、現在は、将来的な管理手法については、現行どおり、市が直接運営することも否定しているものではありません。</p> <p>なお、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査において、施設の諸</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
		<p>室構成や、管理運営も含めた民間活力導入の可否を検討することとなりますが、PFI 手法などの一括発注手法を導入した場合においても、すべて民間事業者の裁量に委ねられるものではなく、サービスの提供にあたり必要な面積や民間事業者に求める運営内容など、本市が求める要件を付することが可能であるため、より良い施設の実現に向け、必要な要件や手法を検討してまいります。</p>
12	<p>図書館を見ると、蔵書数 70 万冊、年間 30 万人近くの来客数がある。40 年以上、駅から遠い立地でも魅力ある北総地区一番の存在である。育ててきた成田市に感謝をするとともに、より快適で進化した環境へと育ててほしい。</p> <p>優秀な司書たちが提供する、努力と工夫のつまった丁寧なサービス、これが来客数に結びついている。また単独だからこそその集客力だと考える。この図書館の集客力に頼った複合施設ではいけない。社会教育のサービスはお金だけでなくその姿勢と努力にある。市民の居場所として安心感があり、居心地がよい所はなかなかない。図書館の蔵書数、そしてプラスαの機能を満たすには大きなスペースが必要になる。</p> <p>PFI では切り捨てられがちな生産効率だけを考えた複合施設では、今まで育ててきた図書館を殺してしまわないか。また PFI の契約が切れた時も、とても心配である。PFI で安易に作った施設はこれを危惧している。愛用してきた私は不安を感じる。</p>	<p>図書館運営については、現在、23 ページ「3. 施設の機能について」 「3.1. 知識や情報を得る場」に記載のとおり、「成田市立図書館サービス計画 2021～2030」に掲げる図書館の役割や基本方針に則ったサービスの提供を行っておりますが、本複合施設に導入予定の図書館についても、こうした役割や基本方針を踏まえた整備運営方針を定めております。利用者にとって引き続き居心地のよい場となることに加え、あらゆる世代や多様なニーズを受け入れ、知の交流を図る多様なイベントの企画、運営を行うなど、更なる魅力向上に努めることで、それぞれのサードプレイスとなることを目指してまいります。</p> <p>なお、PFI 手法などの一括発注手法を導入した場合においても、すべて民間事業者の裁量に委ねられるものではなく、サービスの提供にあたり必要な面積や民間事業者に求める運営内容など、本市が求める要件を付することが可能であるため、より良い施設の実現に向け、必要な要件や手法を検討してまいります。</p> <p>具体的な諸室構成や規模、導入機能及び整備手法等は、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階で検討してまいります。いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
13	<p>本基本構想（素案）P19において、本施設が成田ニュータウン再生の核となる賑わいの拠点であると同時に、「防災機能の強化・環境への配慮」を担うことが期待される役割として示されており、深く賛同いたします。</p> <p>その一方で、これを具体化するための3.「施設の機能について」の要件においては、防災や環境に関する記載が不足しています。</p> <p>今後の基本計画・設計段階において、質の高い防災・エネルギー提案を担保するためにも、防災・環境関連の記載が必須と考えます。</p> <p>そのため、P29【3.7.2.機能・規模の考え方】の文章について、以下の通り「防災拠点としての機能強化や自立・分散型エネルギーの導入等の環境配慮」という文言の追記を提案いたします。</p> <p>なお、基本調査報告書 P124 には「複合施設は、災害時においても施設利用者だけでなく、市民の避難等を受け入れられる防災機能の強化とともに、地球環境に優しい自立型エネルギー設備を備えることが期待される」との記載があり、その内容とも合致するものと考えます。</p> <p>（素案への追記案）※追記部分を下線太字</p> <p>・一体的整備による公共施設の整備コストの圧縮や、民間事業者のアイデアやノウハウを生かした維持管理コストの低減、市民の新たなニーズに応える公共サービスの充実、防災拠点としての機能強化や自立・分散型エネルギーの導入等の環境配慮、余剰地の利活用など、創意工夫による施設の機能や規模の提案を民間事業者に求めていきます。</p>	<p>いただいたご意見のとおり、これまで実施した市民アンケート調査や市民ワークショップにおいて寄せられた意見を基に、基本調査報告書において、本複合施設の整備に当たり期待される役割の一つとして「防災機能の強化・環境への配慮」を掲げています。</p> <p>つきましては、いただいたご意見を踏まえ、加筆・修正する方向で検討します。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
14	<p>（「市民のリビングルーム」としてのソフト統合と空間設計）</p> <p>本構想の掲げる「生涯のサードプレイス」を実現するモデルとして、ヘルシンキ中央図書館「Oodi」のような、機能の境界をなくした「市民のリビングルーム」としての整備を強く提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩やかな機能の融合： 図書館、公民館、子育て支援といった縦割りの区分を排し、一つの大きな空間の中に「静かに過ごす場」「対話を楽しむ場」「創作する場」を共存させてください。これにより、多世代が自然に同じ空間を共有し、新しいコミュニティが生まれる土壌となります。 ・「居心地」への投資： 豪華な設備よりも、誰もが気兼ねなく滞在できる什器の配置や、子供の声が過度に制限されない音響設計など、日常的に「また来たい」と思わせるソフト面の充実を求めます。 ・ゲームを「文化・教養」として統合： 日本が世界に誇るゲーム文化を単なる娯楽と切り捨てず、図書館や公民館の機能の一部として正當に位置づけてください。e スポーツを通じた多世代交流、プログラミング教育としてのゲーム制作、論理的思考を養うボードゲームなど、「体験型の文化」としての場を設けるべきです。 	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご提案につきましては参考にさせていただきます。</p>
15	<p>子育て機能を施設コンセプトの中心軸に位置づけることについて</p> <p>コンセプト「生涯のサードプレイス」は全世代を包含する良い理念であるが、上位計画が「子育て世代が集う魅力あるまちづくり」を重点目標に掲げている以上、子育て機能を「6つの機能のうちの1つ」ではなく、施設全体を貫く中心軸として明確に位置づけるべきである。</p>	<p>本複合施設は、子育て関連施設のほか、図書館、文化・学習施設のそれぞれが連携することにより、各機能間で様々な相乗効果を生めるような整備を検討しています。</p> <p>そのため、複合施設を形成する1つの機能が独立して中心軸を成すのではなく、それぞれが重なり合うことで、より太い軸を形成するものと考えており、複合施設全体を通して、子どもやその保護者にとっての居場所や交流の場となるよう、子育て支援の充実を目指してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
16	<p>(子育て機能をコンセプトの中心軸に) 素案では、期待する効果・役割の1つとして「子育て支援の充実」を列挙しているが、子育て世代が集う魅力あるまちづくり実現のため、子育て機能を中心軸(コア)に据えた大胆な求心的ゾーニングへの昇華を要望する。 子育て支援を「機能の1つ」ではなく、「再生の核(エンジン)」として明確に位置付けること。</p>	<p>本複合施設は、子育て関連施設のほか、図書館、文化・学習施設のそれぞれが連携することにより、各機能間で様々な相乗効果を生めるような整備を検討しています。 そのため、複合施設を形成する1つの機能が独立して中心軸を成すのではなく、それぞれが重なり合うことで、より太い軸を形成するものと考えており、複合施設全体を通して、子どもやその保護者にとっての居場所や交流の場となるよう、子育て支援の充実を目指してまいります。</p>
17	<p>(不登校児童生徒の居場所機能の明確な位置づけについて) 市民ワークショップで提起された「不登校の子どもにとって日中の居場所となるような申請不要の空間」について、基本構想に機能として明確に位置づけるべきである。</p>	<p>本複合施設整備に当たっては、「生涯のサードプレイスとなる成田複合拠点～居心地の良い、みんなの「第3の居場所」となる拠点づくり～」として、年齢や世代、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安心して利用でき、誰もが居心地の良さを感じられる場所となることを目指してまいります。</p>
18	<p>(不登校児童生徒の居場所機能の明記) 素案では、「青少年の居場所」として、中高生が放課後に学習や交流を行えるフリースペースを整備することとされているが、学校外での多様な学びや育ちを支えるため、「不登校児童生徒」が平日日中に安心して過ごせる「サードプレイス(第3の居場所)」機能を明記し、放課後だけでなく、「平日日中の見えないニーズ」に寄り添うセーフティネット機能として、人目を気にせず過ごせる個室的空間や相談機能の設置を要望する。</p>	<p>本複合施設整備に当たっては、「生涯のサードプレイスとなる成田複合拠点～居心地の良い、みんなの「第3の居場所」となる拠点づくり～」として、年齢や世代、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安心して利用でき、誰もが居心地の良さを感じられる場所となることを目指してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
19	<p>(防災機能における多言語対応および受入体制について) 【該当箇所】 構想全体 (防災機能)</p> <p>本施設が地域の指定避難所・防災拠点として機能する場合、日本語の理解が十分でない外国人住民への確実な情報伝達と、避難生活における配慮が不可欠です。</p> <p>そこで、災害時における「情報のバリアフリー」の観点から、以下について具体的な説明を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 災害発生時および避難所運営における多言語による避難情報提供の仕組み 2) デジタルサイネージ等を活用した、多言語によるリアルタイムな災害情報の表示機能 3) 避難所内における外国人住民向けの相談窓口の設置と、多言語対応スタッフ (通訳ボランティア等) の配置計画 4) 宗教的・文化的背景 (食事や礼拝等) に配慮した備蓄品やスペースの確保 <p>外国人住民を含めたすべての住民が安心して避難できる防災体制について、具体的な対応方針をお示してください。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していきますが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
20	<p>(にぎわい創出に向けたソフト施策の具体性について) 【該当箇所】構想全体(にぎわい創出・運営計画)</p> <p>本素案では、施設整備による「にぎわいの創出」が期待されていますが、にぎわいは器(ハード)のみでは発生せず、魅力的なプログラムや自律的な活動(ソフト)が不可欠です。</p> <p>しかし、本素案は施設の機能配置(ハード)に偏っており、にぎわいを継続させるための運営戦略が不透明です。</p> <p>そこで、実効性のあるにぎわい創出の観点から、以下について説明を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ターゲットとする利用者層ご滞在時間、および再訪率を高めるためのソフト施策の具体案 2) 市民団体や民間事業者による「自主的な活動」を誘発し、参画を促すための仕組みや運営ルールの検討状況 3) 周辺の商店街や民間施設、既存の地域活動と相乗効果を生むための連携策(エリアマネジメントの視点) 4) 単なる「施設貸出」に留まらない、イベント企画や情報発信を主体的に行う専門的人材(コーディネーター等)の配置計画 <p>「ハコ(施設)」が完成した後に閑散とすることがないように、運営開始後のソフト面での具体的な検討プロセスおよび戦略をお示してください。</p>	<p>令和5(2023)年度に実施した基本調査は、施設の目指すべき将来ビジョンを策定しましたが、本基本構想は、事業検討の初期段階での、全体の方針や方向性をまとめたものとなります。今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階において、本複合施設の具体的な施設規模や配置、諸室構成や導入機能及び事業手法等の検討及び民間活力導入の可否などを検討することとなりますが、その際には、皆様から寄せられたご意見や、サウンディング調査による民間事業者の意見、今回いただいたご意見における視点も参考に、検討してまいります。</p>
21	<p>(保育園と複合施設内子育て支援機能の連携設計について)</p> <p>保育園を単独棟として整備する方針は合理的であるが、複合施設内の子育て相談機能・一時預かり機能(こども誰でも通園制度を含む)との動線的・運営的な連携について、基本構想の段階で方針を明記すべきである。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
22	<p>(子育て支援機能の必要性および規模の妥当性について) 【該当箇所】 構想全体(子育て支援機能) 本施設では子育て支援機能の導入が想定されています。 しかしながら、人口減少および少子化の進行、さらには近隣の公津の杜地区や成田駅周辺における既存施設の整備状況を踏まえると、本地区における新規施設需要の見通しについては、より慎重な検討が必要と考えます。 そこで、過剰投資を抑制する観点から、以下について具体的な説明を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 本施設における子育て支援機能のターゲット層(年齢・居住エリア)と利用者数予測 2) 成田ニュータウン地区の将来人口推計および出生率予測との整合性 3) 既存の「子育て支援センター」等との明確な役割分担および、既存施設の統廃合の有無 4) 利用者ニーズ調査等に基づく、施設規模(面積・定員)設定の客観的根拠 <p>新規施設整備の必要性および適正規模について、客観的データに基づく説明を求めます。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
23	<p>（「選ばれる街」にするための市場ニーズの反映（不動産事業者の視点））</p> <p>本施設は成田ニュータウン再生の象徴であり、定住人口の維持・増加に寄与する必要があります。そのため、街のセールスマンである不動産業者の知見を積極的に取り入れるべきです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入検討層の本音の把握：日々家探しを支える不動産事業者は、移住を検討する人が「何に魅力を感じ、何に不安を抱くか」という市場のリアルなニーズを熟知しています。彼らの意見を設計やサービス内容に反映させることで、結果として「この街に住みたい」と思わせる強力な魅力づくりにつながります。 ・資産価値としての公共施設：「この施設があるから、このエリアの住宅価値が維持される」とプロが確信できるような、実用性と利便性を兼ね備えた施設を目指してください。 	<p>本複合施設検討に当たっては、皆様から寄せられたご意見やサウンディング調査による民間事業者の意見、今回いただいたご意見における視点も参考に、検討してまいります。</p>
24	<p>子どもが雨天時にも走り回れる施設がほしい</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
25	<p>赤ちゃんからお年寄りまで、障がいのある方も使いやすい設計でお願い致します</p>	<p>本複合施設のコceptを、「生涯のサードプレイスとなる成田複合拠点～居心地の良い、みんなの「第3の居場所」となる拠点づくり～」と定めており、幼児から高齢者まで、年齢や世代、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安心して利用できる施設を目指してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
26	<p>住んでいる市民や次の世代、誰にでも、伝わりやすい姿を掲げていただきたいと思います。</p> <p>目指すべき姿が「成田ニュータウン再生の核となる賑わいの拠点施設」とありますが、「再生」とはどういうことなのか？特に、これから施設を作っていく（利用していく）人たちが、転入してきた若年層や子育て世代は、イメージできないと思います。</p> <p>開催された市民ワークショップでは、設備や機能の話が主だったようですが、ここ（目指すべき姿やコンセプト）をもっと、多くの市民と対話してから、策定していただきたいと思っております。</p>	<p>本複合施設のコンセプトを、「生涯のサードプレイスとなる成田複合拠点～居心地の良い、みんなの「第3の居場所」となる拠点づくり～」と定めており、幼児から高齢者まで、年齢や世代、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安心して利用できる施設を目指してまいります。</p>
27	<p>（多文化共生指針に基づく外国人住民への具体的対応について）</p> <p>【該当箇所】構想全体（導入機能）</p> <p>成田市は外国人住民の割合が比較的高く、特に本地区周辺には空港関連企業に従事する外国籍住民も多く居住しています。本施設整備にあたっては、「成田市多文化共生指針」が掲げる「互いを認め合い、共に生きる」社会の実現に向けた実効性のある機能が不可欠です。</p> <p>しかしながら、本素案では具体的な施策が不明確であるため、以下について説明を求めます。</p> <p>1) 外国にルーツを持つ子どもへの学習支援（日本語教育等）や居場所づくりの具体案</p> <p>2) 単なるイベント利用に留まらない、日常的な多文化交流・相互理解を促進する機能の有無</p> <p>3) 災害時等の避難所機能も想定した、外国人住民への多言語による情報提供・相談体制</p> <p>4) 構想策定プロセスにおける外国人住民からの意見聴取および反映の状況</p>	<p>本複合施設のコンセプトを、「生涯のサードプレイスとなる成田複合拠点～居心地の良い、みんなの「第3の居場所」となる拠点づくり～」と定めており、幼児から高齢者まで、年齢や世代、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安心して利用できる施設を目指してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>外国人住民を含めた地域コミュニティ形成の拠点として、本施設がどのように機能するのか、具体的な対応をお示してください。</p>	
28	<p>(生活者としての「多文化共生」の視点) 素案では、成田空港第2の開港プロジェクトに伴う空港関連従業員の増加による転入促進や、「誰一人取り残さない居場所」の提供が記載されているが、増加する空港従事者には、多様な国籍・文化的背景を持つ人々が多く含まれる。サイン計画(多言語・ピクトグラム)に留まらず、多様な文化を共有・交流できる「多文化共生スペース」の視点を施設コンセプトや活動内容に明記すること。国際空港都市・成田の中心施設として、インバウンド対応ではなく「生活者としての外国人」を包摂する空間設計を希望する。</p>	<p>本複合施設のコンセプトを、「生涯のサードプレイスとなる成田複合拠点～居心地の良い、みんなの「第3の居場所」となる拠点づくり～」と定めており、幼児から高齢者まで、年齢や世代、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安心して利用できる施設を目指してまいります。</p>
29	<p>①賑わいの核となるということ、サードプレイスにということに意見です。</p> <p>今 図書館 子ども館男女共同参画センター赤坂ふれあいセンター公民館を利用して思うのは、それぞれ十分に賑わっていること、またそれぞれ住み分けがされているということ(使う方々に)もう十分サードプレイスになっているということ。</p> <p>こちらのパーセンテージには出てきておりませんでした。中央公民館のロビーは、いつも賑わっています。また男女共同参画センターのロビーもです。中高生の居場所ともなっています。もりんぴあにも同じようにあるけれどもどうしてそちらに行かないのと聞いたことがあります。そちらはいっぱいだから、そして近くだからこちらが行きやすい。あとは少し緩やかな雰囲気が好きだと言っていました。今それぞれの場所にお部屋を借りて使う、それ専用の部屋である</p>	<p>本複合施設は、年齢や世代、障がいの有無にかかわらず、すべての人が安心して利用でき、誰もが居心地の良さを感じられる場所となることを目指し、「生涯のサードプレイスとなる成田複合拠点～居心地の良い、みんなの「第3の居場所」となる拠点づくり～」というコンセプトを定め、居場所づくりの方向性として「学ぶ」「集う」「楽しむ」の3点を掲げて、機能イメージの検討を進めてまいりました。</p> <p>このコンセプトを実現するために、皆様から寄せられたご意見や、サウンディング調査による民間事業者の意見なども参考に、ハード・ソフト両面で、コンセプトに合致するような、効率的かつ魅力的な施設となるよう、今後の基本計画において具体的な整備内容を検討してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>(中高生用、自習用など)ではない余白 スペースがそれぞれにあることで、実は利用している人がいること。 多様性をインクルージョンすることが 今後の課題だと思っています。 1つの場所になってしまうことで、今ある多様性を壊してしまうんじゃないかなと思っています。</p> <p>居心地の良い と書いてありましたが、 居心地の良さには、物理的スペース、対応の柔軟さ、それぞれに違いますので、ひとつにまとめること自体で、いま既にある居心地の良さはメジャーな属性の人が残り、マイナーな属性な人は淘汰されていくように懸念されます。 今色々なところがあるから、それぞれに対応できていることが複合的になることで、対応できなくなることも 予想されます。</p> <p>賑わいやサードプレイスは、それぞれのいきいきさや安心、があつてこそ 成り立つと思います。そこに必要なのは、 このような大きな箱物ではなく、そこをつなげる人、そんな活動や居場所となるようなことを支えられる人、また複合的に ということであれば、職員の方々がお互いの施設をよく知り、連携が取れるシステムや、つなげるような研修、居場所づくりができるように支えられる十分な人の配置と研修が必要だと考えます。</p>	

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
30	<p>成田市は、6年度決算で全体会計において、1290億円の負債があり、財政赤字が酷いので他の公共施設の立替や開発の延期が複数あると聞いている。</p> <p>地元市民説明会も開かれず、一方的にパブコメを求めるには、無理があり、到底開かれた行政ではないし民主主義とは言えない。</p> <p>チャントした手続きで行政を運営してほしい。</p>	<p>39ページ「7.1. 検討の視点」に記載のとおり、複合施設の整備に際しては、財政負担を最小限に抑えるため、民間資金の活用や事業スキームの工夫等、財源圧縮の方法を検討してまいります。</p>
31	<p>(建設コスト上昇リスクへの対応および事業継続の判断基準について)</p> <p>【該当箇所】構想全体(財政計画)</p> <p>近年、建設資材価格の高騰や労務費の上昇により、公共施設整備の事業費が当初想定を大幅に上回る事例が全国的に相次いでいます。</p> <p>そこで、市財政への致命的な影響を回避するリスク管理の観点から、以下について具体的な説明を求めます。</p> <p>1) 現時点における資材価格・労務費の上昇率を織り込んだ建設コストの上昇リスク評価</p> <p>2) 事業費が上振れした場合の財政負担(起債、一般財源等)の許容限度額</p> <p>3) 事業費が一定割合を超えて増大した場合の、事業継続・中止・規模縮小等の判断基準(出口戦略)</p> <p>4) コスト上昇分を抑制するための、施設仕様の簡素化(バリューエンジニアリング)の検討状況</p> <p>外部環境の急激な変化を踏まえ、無制限な財政負担増を招かないためのリスク管理の方針を具体的にお示しください。</p>	<p>物価高等による影響は少なからずあるものと認識しておりますが、一方で、個人所得の伸び等により、市民税や固定資産税については、安定的に推移するものと考えております。</p> <p>39ページ「7.1. 検討の視点」に記載のとおり、複合施設の整備に際しては、財政負担を最小限に抑えるため、民間資金の活用や事業スキームの工夫等、財源圧縮の方法を検討してまいります。</p>
32	<p>現在の成田市の財政状況(経常収支比率の高止まりや将来負担の増大等)を鑑みると、本素案に示された整備スケジュール(令和12年度設計・施工開始)を実行した場合、市財政の弾力性を著しく損なう</p>	<p>物価高等による影響は少なからずあるものと認識しておりますが、一方で、個人所得の伸び等により、市民税や固定資産税については、安定的に推移するものと考えております。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>恐れがあります。</p> <p>大規模な施設整備に伴う債務が、将来にわたり他の住民サービスやインフラ維持管理の質を低下させる「深刻な副作用」をもたらす危険性が高いのではないのでしょうか。</p> <p>構想の実現ありきではなく、上記にて指摘した各項目（財政リスク、総量抑制、機能重複等）に対し、市民が納得できる明確な回答と、必要に応じた計画の抜本的な見直しを強く要望いたします。</p>	<p>39 ページ「7.1. 検討の視点」に記載のとおり、複合施設の整備に際しては、財政負担を最小限に抑えるため、民間資金の活用や事業スキームの工夫等、財源圧縮の方法を検討してまいります。</p>
33	<p>壮大な計画になる予定ですが、これを建設することとともに、そんなシステムや人を配置する予算をずっと取り続けられるのでしょうか。</p> <p>新しいものをお金をかけて作るより、今十分にあるものを生かす、そしてそこに働く人、仕組み、そういうソフト面にお金をかけていただきたいと思います。</p>	<p>物価高等による影響は少なからずあるものと認識しておりますが、一方で、個人所得の伸び等により、市民税や固定資産税については、安定的に推移するものと考えております。</p> <p>39 ページ「7.1. 検討の視点」に記載のとおり、複合施設の整備に際しては、財政負担を最小限に抑えるため、民間資金の活用や事業スキームの工夫等、財源圧縮の方法を検討してまいります。</p>
34	<p>この構想は「素案」のまましばらく延期すべき(凍結)</p> <p>現在成田市は財政が厳しいとのこと。そのため、手数料等の引き上げも実施されている状況である。その中で新規事業も目白押しであり、かつ、既存の計画や事業が延期されている。そのような中、構想といえども新たな事業計画をすべき時期とは思えない。</p>	<p>物価高等による影響は少なからずあるものと認識しておりますが、一方で、個人所得の伸び等により、市民税や固定資産税については、安定的に推移するものと考えております。</p> <p>39 ページ「7.1. 検討の視点」に記載のとおり、複合施設の整備に際しては、財政負担を最小限に抑えるため、民間資金の活用や事業スキームの工夫等、財源圧縮の方法を検討してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
35	<p>新しくなった公民館の有料施設化を懸念します。 施設が新しくなったとしても、引き続き市民に開かれた利用しやすい空間であることを望みます。</p> <p>なお、計画書の9ページに > 諸室が利用ニーズと合致していない場合（例：調理室で、調理以外の用途での利用をしている、面積の大きい諸室を少人数で活動をしている等）や利用率の偏りがありとありますが、</p> <p>中央公民館に平成27年度勤務していましたが、登録サークルの数も多く、サークルさんの希望する部屋がかち合ったり先約があったりで、やむを得ず別の部屋を予約するケースも多かったです。好きで調理室や大きい部屋を利用している訳ではないことを考慮していただけたらと思います。</p>	<p>中央公民館における諸室の利用実態に関するご意見につきましては、9ページ「1.6.1. 各施設について」「(2)中央公民館」に記載のとおり、現状の諸室構成などが利用ニーズと合致していないことや、利用率に偏りがあることの要因の一つとして認識しています。15ページ「1.6.2 各施設の利用率について」において、既存施設の時間帯別利用率を示していますが、こうしたデータも踏まえ、今後、適切な諸室構成を検討してまいります。</p> <p>また、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の検討段階で、施設の管理運営も含めた民間活力導入の可否を検討してまいります。いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
36	<p>公民館、図書館に要望する新しい施設としては、気軽に勉強ができるスペースがあるといいです。</p> <p>他には、エリア分けされた空間（子供が動き回れるところと、大人がゆっくりできる場所）ができることとてもうれしいです。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
37	<p>（子ども館機能の急増する需要に見合った規模確保について）</p> <p>子ども館の利用者数が急増している実態を踏まえ、複合施設内の子ども・子育て関連機能の面積規模について、現状の延床面積（883㎡）を大幅に超える水準で確保するとともに、将来の需要増にも対応できる拡張性を持たせるべきである。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
38	<p>(子ども館の需要増に見合う規模確保)</p> <p>子ども館は、直近2年間で約65%増加(R4:5825人⇒R6:9507人)しているが、その反面、施設は老朽化しており、バリアフリー対応が不十分であり、駐車場も不足している。</p> <p>今後、空港関連従業員等の転入促進により、さらに若年層・子育て世代の需要増加が見込まれる。そうしたことを前提に、見合う施設規模を算定すべき。</p> <p>複合化に伴う「面積の縮減」対象から、子ども・子育て支援スペースを外す、あるいは最小限に留め、急増する需要を吸収できる「専用・占有スペース」を確保することを最優先事項とすること。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
39	<p>(PPP/PFI手法導入における市の事業管理能力について)</p> <p>【該当箇所】構想全体(事業手法)</p> <p>本素案ではPPP/PFI手法の導入が検討されています。</p> <p>PPP/PFI事業では、事業スキームの設計、リスク分担の設定、VFM(Value for Money)の算定、契約管理など、高度な専門知識とモニタリング能力が求められます。</p> <p>そこで、事業の適正な執行を担保する観点から、以下について具体的な説明を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 市におけるPPP/PFI推進・管理体制および実務経験を有する職員の配置状況 2) 外部コンサルタントの活用方針、選定基準、および委託費用の見込み 3) VFM算定方法および、市と民間事業者のリスク分担の基本方針 4) 第三者機関(外部有識者や専門家会議等)によるセカンドオピニオンの取得、および審査体制の有無(市自体の判断だけでなく、算定根拠やリスク評価の妥当性を客観的に検証する仕組みがあるか) 	<p>本複合施設の具体的な配置や動線、諸室構成や規模、導入機能及び整備手法等は、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階で検討してまいります。いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>PPP/PFI の導入を検討するにあたり、市が主体的に事業管理（モニタリング）を行える体制、および客観的な外部チェック体制について具体的な根拠をお示してください。</p>	
40	<p>公民館で活動したり、日々暮らしていて思うのは、サードプレイスというのは場所があるからできるのではないということ。場所はそれを担保する手段で、一人一人の人のやり取りによって一朝一夕ではなく、少しずつ 少しずつ 時間をかけてそれぞれの人の思いが交差してできていくものだということ。</p> <p>この工事が始まることで、今あるサードプレイスとなっているそれぞれに育まれてきた場が一旦ストップすることはその育まれてきたものが、途絶えてしまうということにならないか、やはり懸念があります。</p> <p>それぞれ場所に必要なことをこの予算で行うことの方が、これからの成田市にとって有意義であり、にぎわい、それぞれの安心の居場所、サードプレイスとなりうるんじゃないかなと思っています。</p> <p>複合施設建設にあたっては「PPP/PFI の導入を検討し・・・」とありますが、複合化される施設のすべて民間運営にするのは疑問です。特に図書館はこれまで積み上げてきた知の蓄積を民間が扱うのは難しいと思いますし、市が残してきた資料を扱う図書館は引き続き市が直接管理・運営すべきです。</p> <p>施設の運営は一部直営にするなど複合的に検討すべきだと思います。</p>	<p>将来的な管理手法については、現行どおり、市が直接運営することも否定しているものではありません。</p> <p>PFI 手法などの一括発注手法を導入した場合においても、すべて民間事業者の裁量に委ねられるものではなく、サービスの提供にあたり必要な面積や民間事業者に求める運営内容など、本市が求める要件を付することが可能であるため、より良い施設の実現に向け、必要な要件や手法を検討してまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
41	<p>(PPP/PFI 手法での「地元事業者」参画枠組み)</p> <p>素案では、公共施設マネジメントの観点から、民間活力を効果的に活用し、資金調達や運営の効率化、質の高いサービスを生み出す取組みを検討することとされているが、大手ゼネコンだけでなく、地元事業者が積極的に参画できる枠組み(コンソーシアム組成の評価等)の構築を希望する。「民間活力」＝「地元活力」。地元企業が関わることで、持続可能な地域経済エコシステムを構築できる。</p>	<p>本複合施設の具体的な整備手法等は、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階で検討してまいります。いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
42	<p>民活導入について、この素案では導入ありきの方向で述べられている。</p> <p>公民館や図書館の社会教育施設としての役割や理念を軽視して、コスト削減のみの視点での素案として作られ、誘導している。</p> <p>(民活主導)</p> <p>民活手法を「公共負担の削減」が主目的で導入すると、サービス水準の低下や人件費圧縮による人材不足が起き、結果的に利用者満足度の低下やクレーム増につながる。コスト削減や効率化を優先してコミュニティセンター化が進み、社会教育施設としての理念を失い、単なる貸館・イベント会場になってしまう懸念がある。社会教育法上の位置づけを取り払いコミュニティセンター化すると、専門職員の減少や学習機能の弱体化につながり、市民の学びの場をなくすことになる。「教育機関」であることの重要性をもう一度認識しなおすべき。</p>	<p>本複合施設の具体的な整備手法等は、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階で検討することとなりますが、PFI 手法などの一括発注手法を導入した場合においても、すべて民間事業者の裁量に委ねられるものではなく、サービスの提供にあたり必要な面積や民間事業者に求める運営内容など、本市が求める要件を付することが可能であるため、より良い施設の実現に向け、必要な要件や手法を検討してまいります。</p>
43	<p>素案を読みましたら、現施設の(1) 図書館(本館)(2) 中央公民館(3) 市民課赤坂分室(4) 生涯大学校(5) 男女共同参画センター(6) 赤坂ふれあいセンター(7) 子ども館(8) 赤坂保育園の 8 施設の内、「施設の老朽化が進み、再整備を検討する必要がある」のは(7) 子ども館となっております。</p>	<p>中央公民館や図書館(本館)においても、子ども館同様に築後 40 年以上が経過し、老朽化が進行しており、1 ページ「1.1 目的と背景」に記載のとおり、本複合施設の整備は、それらの建替えを軸に、地域活動や生涯学習の拠点となる新たなコミュニティの場を創出するとともに、周辺エリアの再整備を通じて、より良い住環境と地域の活性化を図ること</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>原材料費等が高騰しているご時世ですから、再整備が必要な(7) 子ども館のみ、整備を検討、利用できる施設は修繕や改修し、複合施設の建設を急がなくてもよいと感じております。</p> <p>賑わいは人がつくります。現施設でも、まだまだ改善できるところはたくさんあり、利用促進等できると思っております。</p> <p>地域をよりよくしたい市民はたくさんいますので、共に「NARITA みらいプラン」重点目標のひとつでもある、「活力のある街」を次世代に繋いでいけたらと、意見させていただきます。</p>	<p>を目的の一つとしております。</p> <p>つきましては、いただいたご意見を踏まえ、加筆・修正する方向で検討します。</p>
44	<p>図書館における「静寂空間」と「子ども空間」の明確な分離</p> <p>本複合施設の整備には、親と赤ちゃんが楽しめる空間や、会話や遊びができる広い図書館という需要もある一方で、静かに本を読む空間や自習室という需要もあると思われる。</p> <p>「賑わい」と「静寂」の混在は利用満足度を著しく低下させる。フロア別、あるいは棟別にするなど、物理的かつ明確にゾーニング(分離)することを要望する。</p> <p>設計の際には、「多機能の融合」と「空間の分離」の両立を図り、利用者のストレスを生まないゾーニング設計に留意すること。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や機能、諸室構成等は、今後の基本計画において検討していくことから、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
45	<p>まず初めに何で公共施設の意見入力するためにこんなに個人情報を入れなければいけないのでしょうか？</p>	<p>本市のパブリックコメントについては、成田市パブリックコメント手続実施要項第9条第2項において「意見等を提出しようとする市民等は、住所及び氏名(法人その他の団体にあつては、所在地、名称及び代表者氏名)を明らかにしなければならない。」と定めていることから、ご理解願います。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
46	<p>（「成田市公共施設等総合管理計画」との整合性について） 【該当箇所】 構想全体（施設規模・配置） 「成田市公共施設等総合管理計画」では、人口減少および将来の財政負担の増大を踏まえ、公共施設の保有総量の縮減および施設規模の適正化を基本方針として掲げています。 しかしながら、本素案では本施設整備による公共施設保有総量への具体的な影響が示されていません。 公共施設マネジメントの観点から、以下について具体的な説明を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 本施設整備後の市全体の公共施設延床面積の増減 2) 本施設整備に伴い廃止・統合・縮小を予定している既存施設およびその時期 3) 公共施設等総合管理計画における総量削減目標との整合性 4) LCC（ライフサイクルコスト）を含む維持管理費削減効果の試算 <p>本施設整備が同計画の方針と整合することを示す定量的な根拠をお示しください。</p>	<p>本基本構想策定に当たっては、「成田市公共施設等総合管理計画」を踏まえて策定することとしておりますが、具体的な導入機能や整備手法等は、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階で検討してまいりますので、いただいたご意見なども参考にしながら、進めてまいります。</p>
47	<p>（ライフサイクルコスト（LCC）の提示について） 【該当箇所】 構想全体（財政計画） 公共施設整備の妥当性を判断するためには、建設費（イニシャルコスト）だけでなく、供用期間全体にわたるライフサイクルコスト（LCC）を把握することが不可欠です。 しかし、本素案では、将来の修繕・更新費用を含む長期的な維持管理費の試算が示されておらず、さらに近年の不安定な経済情勢への備えも不明確です。 そこで、事業の透明性と持続可能性の観点から、以下について説明を</p>	<p>本基本構想策定に当たっては、「成田市公共施設等総合管理計画」を踏まえて策定することとしておりますが、具体的な導入機能や整備手法等は、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階で検討してまいりますので、いただいたご意見なども参考にしながら、進めてまいります。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>求めます。</p> <p>1) 想定供用期間および 30～50 年間のライフサイクルコスト（LCC）試算</p> <p>2) 年間維持管理費および大規模修繕費の想定額</p> <p>3) 物価高騰および労務費上昇に伴う建設費増額のリスクシナリオ（当初想定から費用が上振れした場合の事業継続判断の基準や、増額分をどのように調達・抑制するののかの方針を明示すること）</p> <p>4) 上記1ないし3の支出が市全体の財政（経常収支比率や将来負担比率等）へ与える影響評価</p> <p>市民が事業の妥当性を適正に判断できるよう、物価変動リスクを含めた長期財政負担の見通しを具体的にお示してください。</p>	
48	<p>（成田ニュータウンの住宅ポテンシャルの根拠について）</p> <p>【該当箇所】P3「1.2.2 上位計画等における方向性」</p> <p>本文では「成田ニュータウンは住環境の受け皿となるポテンシャルが十分にある」と記載されています。</p> <p>しかしながら、当該地域周辺では新規宅地開発の余地は限定的であり、今後の住宅供給は既存住宅の流通およびリノベーションによる世代交代が中心になると考えられます。また、施設の整備が住宅需要を喚起し、世代交代を促進する明確な因果関係も示されていません。</p> <p>そこで以下について説明を求めます。</p> <p>1) 当該記述の根拠となる客観的なデータ（人口推計、住宅需要予測等）</p> <p>2) 住宅供給の想定（新規開発、中古住宅流通、および建て替えの促進策）</p> <p>3) 空き家活用および既存ストックの長寿命化に関する具体的施策</p>	<p>本複合施設は、老朽化が進む中央公民館や図書館(本館)の建替えを軸に、地域活動や生涯学習の拠点となる新たなコミュニティの場を創出するとともに、周辺エリアの再整備を通じて、より良い住環境と地域の活性化を図るために計画しているものです。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>4) 子育て世代の呼び込みに向けた住宅取得支援策と、本施設整備との相乗効果の試算 記述の根拠および政策対応について具体的にお示しください。</p>	
49	<p>(既存類似施設との機能分担および役割整理について) 【該当箇所】構想全体(導入機能) JR 成田駅前の「成田市文化芸術センター(スカイタウン成田)」および公津の杜地区の「もりんぴあこうづ(公津の杜コミュニティセンター)」には、既に本素案と重複する文化・交流機能が整備されています。 鉄道駅に隣接し高い利便性を有するこれら既存施設に対し、本施設に同様の機能を導入することは、同一圏域内での施設機能の重複を招き、維持管理コストを増大させる懸念があります。 そこで、公共施設の最適配置の観点から、以下について具体的な説明を求めます。 1) 既存の両施設と本施設における詳細な利用圏域(ターゲット・エリア)の整理 2) 展示・ホール・交流機能における、既存施設との明確な差別化および機能分担の考え方 3) 二重投資を回避するための方策(既存施設の機能移転や集約化の検討の有無) 既存施設との整合性を図り、市全体の施設配置の最適化を担保する客観的な根拠を具体的にお示しください。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や動線、諸室構成や規模、導入機能及び整備手法等は、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階で検討してまいります。いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
50	<p>(駐車場計画および周辺道路への交通影響評価について)</p> <p>【該当箇所】構想全体(配置計画)</p> <p>複数の公共施設を集約する複合施設では、特定時間帯やイベント開催時に駐車需要が集中し、周辺道路の混雑や事故のリスクが高まることが想定されます。</p> <p>そこで、周辺住民の生活環境と安全を確保する観点から、以下について具体的な説明を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 各導入機能(図書館、公民館、子育て支援等)の同時利用を想定した最大駐車需要の予測 2) 必要駐車台数の算定根拠および、敷地内での円滑な入出庫車両の待機スペースの確保策 3) 施設周辺の主要交差点におけるピーク時の交通量変化と交通影響評価(シミュレーション) 4) 利用車両の増加に伴う、通学路の安全性確保に向けた具体的なハード・ソフト両面の対策 <p>近隣住民の生活環境への影響を最小限に留めるため、交通影響評価に基づく具体的な対策をお示しく下さい。</p>	<p>本複合施設の具体的な配置や動線、諸室構成や規模、導入機能及び整備手法等は、今後の基本計画や民間活力導入可能性調査の段階で検討してまいりますが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
51	<p>コンセプトとして、複合化することは近年のトレンドとしていいことであるとともに、施設設備の有効活用につながると考えます。</p> <p>新しくなることで、利用者層の変化もあるとは思いますが、立地が変わることで、一定層利用に不便を感じる人もいるのではないかと考えます。</p> <p>理由としては、パターン3以外は西口大通りの左右で建物の位置が現在と異なるからです。</p> <p>そのほかですと、大通前の金融機関とも協力して再整備できないかとも考えます。</p> <p>今のパターンですと、車の場合、大通から入ることも難しいほか、出る時も、そよらなりたと導線が重なると思われます。</p> <p>もっと一体で考えることで、より良い形になるのではないかと思います。(駅前と同じ建物内に銀行が入っているので)</p>	<p>本複合施設の配置については今後の基本計画の段階で検討することとなりますが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
52	<p>もし、今の図書館が残せるのであれば、今の図書館を子ども向けもしくは博物館系、新しい施設をそのほかのスペースで使うという方法もあるのではないかと思います。取り壊すにしてもお金がかかりますからね。</p> <p>いずれにしても、ここだけの意見だけでなく、直接働いている方々の意見も聞いてみてください。</p> <p>もしくは、この案件を主導する企画政策課の方もそれぞれの施設でしばらく業務をするなどして雰囲気を感じ取ってみてください。</p>	<p>本複合施設の配置については今後の基本計画の段階で検討することとなりますが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
53	<p>安心感のある本当の居場所は建物がすべてではない。すべてが複合しなくてもコンビナートのように、つながる動線があれば活き活きと個性を生かして機能する。</p> <p>ハコだけ、合理性だけでは人が集まる街は育たない。動線のセンターに図書館を置く。単独で置く事からつながる動線が生まれると確信する。</p> <p>また、赤坂公園の利用を含めて予定地をもっと大きく見た方がよい。複合施設に地下シェルター機能を備え、防災基地という側面を持たせる。将来への備えとしていきたい。</p> <p>施設に地下階をつくり、大きな会議室としながら災害時にはシェルターとする。屋上にソーラーで発電可能とし、シャワー室を完備する。隣接する赤坂公園も下水管上に架設トイレをセット可とし調整池を生活用水として使用できるよう整備していく。駅から赤地地区へのアクセスの工夫と、赤坂公園へのつながりを考慮してほしい。</p>	<p>本複合施設の配置については今後の基本計画の段階で検討することとなりますが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>
54	<p>(保育園の近接配置と保育継続性)</p> <p>赤坂保育園は、待機児童対策や小規模卒園児の受け皿として重要であり、素案では、複合施設とは別に単独整備することを検討しているが、整備工事期間中も、保護者の就労を支えるインフラとして、現在の保育サービスが一切中断・低下しない工程計画の確約してほしい。</p> <p>また、送迎の利便性（公共交通機関からのアクセス、乗降駐車場の確保）を重視し、複合施設の動線と安全に分離・近接した配置とすること。</p>	<p>本複合施設の配置については今後の基本計画の段階で検討することとなりますが、いただいたご意見につきましては参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
55	<p>現在、赤坂保育園の敷地から公民館側へ歩道橋を使って移動する場合、昇降には階段しかないため、高齢者や足の不自由な方、ベビーカー使用者には、歩道橋は利用しづらい状況です。</p> <p>緑道や歩道橋と新しい複合施設をつなぐ際には、エレベーターを設置するなど、バリアフリー化もお願いします。</p>	<p>バリアフリーについては検討するとともに、本複合施設の整備と併せて、公共交通からのアクセスや周辺の歩行者動線についても検討を進める予定です。</p>
56	<p>成田市が委託している福祉の各種相談機関（ほっとスマイル、暮らしサポート、地域包括支援センター等）のサテライト等や、現在保健福祉館やスカイタウンにあるような機関のサテライトなども入ると市民の利便性が高まると思います。もしくはそれらがワンストップで受けられるような新しい福祉総合相談センターがあっても良いと思う。</p>	<p>本複合施設では福祉機能の導入は予定しておりませんが、いただいたご意見は市政の参考にさせていただきます。</p>
57	<p>子育て関連施設の次に、障がい者支援施設を追記してほしい。 （理由）</p> <p>入居後50年以上が経過した成田ニュータウンは、居住者の構成も変化してきており様々な方が生活されています。その中には誰かの支援が必要な方もおります。成田市内でも成田ニュータウンが最も生活者として幅の広い地区であります。</p> <p>また、成田のぞみの園の再整備を考えると、その利用者の多くが成田ニュータウンに居住されているので、複合施設の目指すべき姿に位置付けることが最良と考えます。</p>	<p>本複合施設では福祉機能の導入は予定しておりませんが、いただいたご意見は市政の参考にさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
58	<p>新しい複合施設の中に、障がいを持った方々が生き生きと働いたり、活動したりできる場所をぜひ作ってほしいです。</p> <p>赤坂という成田 NT の中心部に新しくできる施設は、子どもから高齢者まで、そして障がいがある方もない方も、みんなが自然に集まれる場所になってほしいと願っています。</p> <p>具体的には、以下のようなことも検討していただけないでしょうか。</p> <p>○「働く姿」が見える場所に： 施設内で障がいのある方が一生懸命働く姿を地域みんなが目にするすることで、自然な交流が生まれると思います。</p> <p>○作品や活動に触れられるコーナーを： 障がいのある方が作った作品を展示したり、販売したりできるスペースがあれば、その才能を多くの人に知ってもらおうきっかけになります。</p> <p>○みんなに優しい居場所づくり： 「働く人」だけでなく、遊びに来る障がいのある方やその家族も、気兼ねなく過ごせるような、温かい雰囲気のある施設を目指してほしいです。</p> <p>赤坂の新しいシンボルとなる施設が、誰もが役割を持って自分らしく過ごせる「心のバリアフリー」を象徴する場所になることを、心から期待しています。</p>	<p>本複合施設では福祉機能の導入は予定しておりませんが、いただいたご意見は市政の参考にさせていただきます。</p>